

ア 特別活動における体力向上の取組の事例

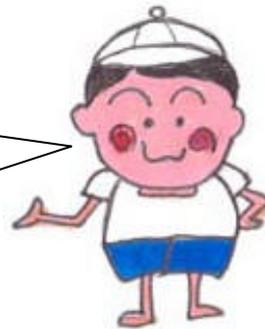
特別活動の目標となっている「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め…」を達成するための各内容の活動において、体力・運動能力向上のための場を設定することが必要です。

体力向上のための場を設定するに当たっては、教科における学習の成果を確かめる場として、また、日ごろ触れ合うことの少ない他学級・他学年・教師と触れ合う機会としての特別活動の位置付けを十分踏まえることが大切になります。

(ア) 学級活動における体力向上の取組

小学校においては、「遊び方を知り、広める活動」が考えられます。

思いやりや協力の大切さ、遊び方について学習し業
間遊びや家庭・地域社会における体を動かす遊びの実
践の広がり結びつけるようにしましょう。



集会の活動は、特に児童が話し合っって創意工夫し、自主的に運営するため、発達段階に応じて適切に指導することが大切になります。

〔 実践例 〕

レッツチャレンジ ザ・遊び 第3学年

| 児 童 の 活 動 | 活 動 の た め の 支 援 |
|---|--|
| 1 本時のめあてを確認する。 | |
| 自分たちが調べてつくったとっておきの「遊び」を紹介しよう | |
| 2 グループごとに調べてきた「遊び」を発表する。 | 家の人に聞いたり、図書館や公民館等で調べてきた遊びを、分かりやすい方法で紹介させる。 |
| 3 調べた「遊び」を、さらに自分たちの工夫で、もっと楽しくしたものを紹介する。 | 新しくしたルールと遊び方を、分かりやすくまとめるように工夫させる。 |
| 4 実際に遊ぶ。 | 発表を聞いて、興味を持った「遊び」コーナーで実際に体験するようにさせる。 実践していこうとする意欲につなげる。 |